

2021年5月31日

各位

会社名 株式会社 ヤギ
代表者名 代表取締役
社長執行役員 八木隆夫
(コード 7460 東証第2部)
問合せ先 経営管理部長 平松 帝人
(TEL 06-6266-7332)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月11日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 通期連結業績予想の修正について

1. 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	106,000	1,550	1,500	800	96円55銭
今回公表予想 (B)	114,240	2,040	2,317	1,525	184円00銭
増減額 (B-A)	8,240	490	817	725	
増減率 (%)	7.8%	31.6%	54.5%	90.6%	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	118,948	2,348	2,294	1,009	122円06銭

2. 修正の理由

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から徐々に持ち直したかにみえた経済活動も、第2波、第3波と続く出口の見えない感染拡大に振り回され、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の下、特に通販向けでルームウェア・インナーウェアなど巣ごもり需要に呼応した商材が好調であったほか、ワーク系商材や低価格ゾーンの量販店向け商材は堅調に推移しました。

また、消費財としての需要が旺盛なマスク市場に対し、デザイン性と機能性を兼ね備えたマスクや、ナノファイバーを使用した高性能マスクなど、当社グループの総合力を活かした商材を積極的に投入することで、新規販路を拡大し収益を確保することができました。

一方で、本日公表の社内調査委員会の調査報告書に記載の通り、当連結会計年度の決算への影響額も軽微であることが判明し、それを織り込んだ上で、上表の通り2020年11月11日公表の通期連結業績予想を修正いたします。

なお、調査報告書の詳細につきましては、本日公表の「社内調査委員会の調査報告書受領及び決算発表日の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

II. 配当予想について

1. 2021年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2020年11月11日公表)		35円00銭	35円00銭
今回公表予想		48円00銭	48円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	24円00銭	24円00銭	48円00銭

2. 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして考えており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していくことを基本方針としております。

したがって、上記Iの業績予想修正を踏まえ、2020年11月11日公表の配当予想を上表の通り修正いたします。

※上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上